

観光社会資本の事例

テーマ	日本三大急潮の一つ針尾瀬戸(伊ノ浦瀬戸)を見下ろす西海橋		
【施設の状況写真】			
			
<p>針尾瀬戸にかかる西海橋 春の大潮時には桜の開花と重なり多くの観光客が訪れる。</p>		<p>建設中の第二西海橋 周辺道路の交通混雑緩和が期待される。 平成17年度末供用開始予定。</p>	
【施設の利用写真】			
			
<p>橋の上から、うず潮を眺める観光客</p>		<p>国道沿いに設けられた西海橋公園、休日には多くの人でにぎわう。</p>	
【観光資源としての利用状況】			
<p>一般国道202号西海橋は佐世保市と西彼杵(にしそのぎ)半島をつなぎ、多面的、複合的な効果をもたらしました。観光面でも、春の大潮時期には、「観潮会」が実施され多くの人々が訪れています。</p> <p>また、すぐ隣には地域高規格道路「西彼杵道路」一般国道202号江上バイパスのうち「第二西海橋」(平成17年度末供用開始予定)が建設中で、映画「釣りバカ日誌」の舞台にもなり、西海国立公園の観光資源としての利用が期待されています。</p>			

テーマ	日本三大急潮の一つ針尾瀬戸(伊ノ浦瀬戸)を見下ろす西海橋
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名称 西海橋(一般国道202号) ○所在地 長崎県 西海市西彼町 ~ 佐世保市針尾東町 ○事業主体 建設省(当時)、現在は長崎県が管理 ○橋長 316m ○供用開始 昭和30年12月1日(昭和45年3月1日無料開放) 	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西海橋 <ul style="list-style-type: none"> 西海橋は、昭和30年建設省(現国土交通省)により有料道路事業として架橋され、その後昭和45年に無料開放されました。 西海橋の架橋により、西彼町(現西海市)と佐世保市が陸路によって結ばれ産業・経済の発展に大いに貢献しました。 ○第二西海橋 <ul style="list-style-type: none"> 第二西海橋の整備により、長崎市と佐世保市との連携が強化され産業・経済の発展、人口の定着による生活環境の改善など、地域活性原動力として期待されています。 また、交通混雑の解消、交通安全の確保に貢献すると共に、非常時における代替路線としての役割も担っています。 	
<p>【位置図】</p> 	
<p>【関連ホームページ】</p> <p style="text-align: center;">第二西海橋 http://www.doboku.pref.nagasaki.jp/~saikai/</p>	

